

第109回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	売	掛	金	買	掛	金
仕	入	売		上		受	取	手	支	払	手
繰	越	支	払	保	険	料	前	払	保	険	料
建		建	設	仮	勘	定	建	物	減	価	償
未	払	金	仕	入	割	引	売	上	割	引	手
損		益	繰	越	利	益	剩	余	金	別	途
火	災	損	失	保	険	差	益				

1. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
2. 決算において、当期純利益 ¥ 100,000 を計上する。
3. 前期末において、向こう3年分の火災保険料(1年分が ¥ 30,000)を繰延処理し、前払保険料勘定に ¥ 30,000、長期前払保険料勘定に ¥ 60,000 を計上していた。当期の決算に当たり、適切な費用の期間帰属のための処理を行う。なお、当期首において再振替仕訳は行っていない。
4. 12月20日に商品 ¥ 500,000 を仕入れ、代金は掛けとしていた(なお、この買掛金については、12月30日までに支払えば代金の1%の割引を受けられることができる)が、本日(12月29日)、買掛金 ¥ 200,000 につき、仕入割引を計上するとともに、残額は小切手を振り出して支払った。
5. 本日(6月15日)、火災により焼失した建物(取得原価 ¥ 1,000,000、残存価額 ¥ 100,000、耐用年数9年、間接法により記帳)について請求していた保険金 ¥ 600,000 を支払う旨の連絡を保険会社から受けた。なお、当該建物は、当期首(4月1日)からさかのぼって5年前に取得したものであり、4月1日の火災により焼失した際に、期首時点の簿価の全額を未決算勘定に振り替えていた。